

# 1

## 講義内容が広くて深い

これからの科学者には視野の広さが求められます。細胞レベルからヒト個体群まで、環境生命科学専修の講義は射程の大きさが自慢です。講義をする先生はいずれも第一線の科学者。講義の最終段階では環境生命科学の最先端のトピックスに到達します。

# 医学部健康総合科学科 環境生命科学専修

## で学ぶべき2つの理由

### おもしろい研究ができる

途上国におけるさまざまな健康問題の解決を念頭におきながら、不健康な状態が生じる生物学的なメカニズムを解明することを目的とした研究をしています。研究成果が社会にどのように貢献するかを意識することで、あなたの研究はもっとおもしろくなります。

- 寄生虫症
- 生活習慣病
- 急性脳症
- ウイルス感染症
- 健康格差
- 発達障害
- 地球環境問題
- 貧困
- 栄養不良
- 顧みられない熱帯病

- ゲノム解析
- 腸内細菌叢
- 生化学
- フィールド調査
- バイオイメーjing
- 創薬
- モデル動物
- 質量分析
- バイオインフォマティクス

を

で研究する

### 環境生命科学専修の研究室

- 人類遺伝学教室 Human Genetics 藤本明洋教授 (afujimoto@m.u-tokyo.ac.jp)  
最先端のゲノム解析による病気のかかりやすさと関連する遺伝子の網羅的探索
- 発達医学教室 Developmental Medical Sciences 水口雅教授 (mizuguchi-tky@umin.net)  
世界の子どもの脳を病気の感染から守るための研究
- 人類生態学教室 Human Ecology 梅崎昌裕教授 (omezaki@humeco.m.u-tokyo.ac.jp)  
健康は自然環境・社会環境とどのようにかかわっているか
- 生物医化学教室 Biomedical Chemistry 野崎智義教授 (nozaki@m.u-tokyo.ac.jp)  
途上国で問題となる感染症の病因解明・薬剤開発



具体的な健康問題を念頭においた研究をする人材には多様な活躍のチャンスがあります。進学振り分けの志望学科を決める前に、私たちの研究室を見に来ませんか？希望する学生は、それぞれの研究室の教授または umezaki@humeco.m.u-tokyo.ac.jp まで。環境生命科学専修ウェブページは左のQRコードまたは [www.humeco.m.u-tokyo.ac.jp/envlife/](http://www.humeco.m.u-tokyo.ac.jp/envlife/)